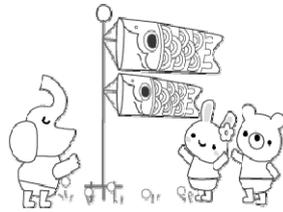


行事予定表		
7	木	内科検診(15:00~)/子育てサロン
8	金	尿・蛭虫卵検査キット配布日
9	土	交通安全教室(5歳児のみ)
11	月	保育参観・保護者会総会
12	火	尿・蛭虫卵回収日
14	木	ピヨピヨひろば
19	火	カレーの日
20	水	巡回相談
21	木	おべんとうデー/食育教室(5歳児)
26	火	歯科検診(10:00~)/子育てサロン
28	木	ピヨピヨひろば
28	木	誕生会
29	金	避難訓練



春の疾風に、桜もあつという間に散ってしまった。雷も、雪も、豪雨も、雷まであり、春風の四月だった。新入の子ども達もすっかり保育園に慣れ楽しそうに遊んでいる。風薫り、命が躍動する季節、新緑、咲き乱れる花々、小鳥がさえずり、蝶が舞い、つばめが集づくりに飛び交う。五月は子どもの季節。園外に出掛け、自然の中で思いっきり遊ぼう。

今年も2階テラスにツバメがやってきました！ヒナが巣から顔を出してくれるのが待ち遠しいですね！

ジャガイモ植えたよ！

- ・5歳児がお借りしている畑にジャガイモの種植えをしました。今年も土作りから草取り、収穫までを経験する予定です。

今月の予定のなかから...

- 交通安全教室(8日) 13時半
- ・今月も5歳児のみの参加となります。交通ルールは大人が見本となり子ども達に伝えていきたいですね。
- 保育参観&保護者会総会(9日)
- ・お忙しいとは思いますが、是非ご参加ください。詳細は先日のお知らせをご確認ください。
- カレーの日(14日)
- ・今年度初めてのカレー(野外調理)の日。前日に、ほしぐみがじゃがいも、人参などを洗います。今回は、5歳児が野菜切りをし、4歳児はその様子を見学し、次回への期待に胸膨らませます。また、だいちぐみはフルーチェを作ります。
- 4, 5歳児はエプロン・三角巾の用意をお忘れなく!!
- おべんとうデー(20日)
- ・おべんとうデーの日の朝。子ども達は登園時からお昼を楽しみにしています。
- 誕生会(28日)
- ・毎月5歳児が誕生児の手を繋ぎ、入場から着席までをお世話し、会の始まり終わりの言葉も行っています。年長児らしく頑張っている子ども達に頼もしさを感じます。

内科検診・歯科検診(7日・21日)

- 全員の方に受診をお願いいたします。なお、当日欠席の場合でも、検診時間内に受診をお願いいたします。また、受診できない場合は、ご家庭にて、かかりつけの医院で受診して頂く事になります。詳しくは来月の「保健だより」をお読みください。

避難訓練(29日)

- 今年色々な時間帯・場面をシミュレーションしながら避難訓練を実施する予定です。反省を活かし、災害に備えたいと考えています。

★お知らせ★おねがい

★今年の夏祭りは8/22(土)に決まりました。保護者会役員の方々ご協力をお願いいたします。沢山の方のご協力をお願いいたします。

☆土曜保育、早朝・延長保育ご利用の方へのお願ひ・毎月の申請は20日が切となります。土曜保育はお仕事の場合のみのご利用とさせていただきます。

★保育補助の小林雪先生が8月に出産を控え、15日で退職となります。色々お世話になりました。また、今より保育補助として稲葉美穂さんが勤務します。どうぞ宜しくお願いします。

☆日中の子ども達はとても活動的です。長袖や厚い物では、汗をかき、かえって体調を崩してしまいます。半袖シャツ・下着・半ズボン等も必ず用意ください。

ママのコミュニケーション

- ・三月園便りで書いたEQ(心の知性)の続き...

随分時間が経ってしまいましたので、HPの三月の「理事長の話」を再読してから読んで頂けると幸いです。

スタンフォード大学の心理学者、ウオルター・ミツシエルが、子ども時代の自制心と将来の社会的成果の関連性を調査した著名な実験に「マシユマロテスト」がある。この実験とその後の追跡調査により「自制心」、自分をコントロールし、目先の欲求を辛抱する力が、社会の中で成功するために重要であることが分かった。▼実験の方法は、幼稚園の四歳児を、机と椅子以外何も無い部屋に通し、皿の上にマシユマロを一つ載せ「これを君にあげるけど、私はちよつと用があるので外に出るが、十五分だけ食べるのを我慢して待つていられたら、マシユマロをもう一つあげる。食べてしまったら、二つ目はなしだよ」と言って部屋を出る。実験に参加した子のうち、我慢してマシユマロを食べずにいられた子は1/3ほどだった。▼興味深いのは、実験結果と子どもの成長した後の社会的成功との間に、相関性があることだった。

最初の実験から十八年後の1988年に追跡調査が実施された。その結果、幼児期における自制心の有無は、その後も持続し、マシユマロを食べなかったグループが優秀と評価され、大学適正試験(SAT)の点数には、トータルで平均210ポイントの差があった。2011年には更に追跡調査が行われたが、この傾向はずっと継続していた。幼児期にはIQより、自分をコントロールできる心の知性(EQ)の方が、将来の成功のためには大切であることが実証された。

理事長 浅田 精利

